



佐世保市立大野中学校

所在地：佐世保市松瀬町 838 番地

校長名：諸熊 修一

生徒数：572名（20学級）

校訓：「至誠をもって生涯を貫こう」

1 特色ある学校づくりに対する基本姿勢

大野中学校の教育目標は「大きな志と真心を持ち、のびる生徒の育成」です。人権尊重の視点に立った学校づくりに取り組むことで、生徒の集団への所属感と安心感、互いに認め合う関係、主体的に学び合う姿勢と態度を養い、学校教育目標の達成を目指しています。

本年度は、学校スローガンを「大野一心」とし、自己実現への力を育むために、次の視点で特色ある学校づくりを進めています。

- (1) のびる知性
- (2) のびる徳性
- (3) のびる体力・自信
- (4) 開かれた学校づくり

特色ある取組として、講師の先生をお招きしての講演会等により「本物に触れる」機会の充実を図りました。



2 実践内容・成果

(1) のびる知性

【人権・平和意識の向上】

本校では、過去に痛ましい事件が起きている。そのことを教訓として「いのちを考え、大切にす」ために人権教育に力を入れている。

今年度についても、「みんなが安心できる学校・社会を作ろう ～知る・気づく・行動する～」を柱として、映画「青い鳥」の上映、外部講師を招聘した「健康的で心豊かな生活」について、「心を一につなごう～見方を変えて「いいところ」を発見！～」、「自分と相手を大切にしたいコミュニケーション（アサーション）を学ぼう」等、様々な講演会を通して機会の充実を図った。詳細は以下の通り。生徒の感想や生活の様子からも顕著な教育効果が感じられた。

- ・5/17 講話（校内放送）「心を一につなごう～見方を変えて「いいところ」を発見！～」

（本校スクールカウンセラー） 梶原 妙子先生

- ・6/25 講話（学年別集会）「私たちの幸せとメディア～自分も相手も大切にしたいメディアを使うために～」 内海 博文さん（長崎県メディア指導員）

- ・7/1, 2 講話（学年別集会）「NAGASAKI と私」 山西 咲和さん（元高校生平和大使）

- ・11/15 映画「青い鳥」上映 コロナ禍のために学年ごとに3回上映。

- ・11/29, 30, 12/1 講話・ワークショップ「自分らしく生きる」SHOGEN さん（アフリカンペイントアーティスト）、他にも事業効果のある行事を企画し進めたところであるが、コロナ禍の中、中止せざるを得ないこともあった。



(2) のびる徳性

【校外内における体験活動の充実】

・職場体験学習（代替 職業講話）

社会性を育むために、学校だけでは学ぶことができない体験学習や講演を聞く機会を推進したが、コロナ禍の中で内容の変更や中止せざるを得ない行事もでてきた。職場体験学習の代わりに職業講話を事業者の数を拡大して実施し、より明確な目的意識をもたせ、それぞれの学習活動に臨ませることができた。



このことは、本校の教育目標「大きな志と真心を持ち、のびる生徒の育成」に迫ることができた。

SHOGENさんによる「自分らしく生きる」についての講話は、私たち教師にとっても生徒とともに学ぶ貴重な機会となった。ワークショップを各クラスで行っていただいたことで生徒、教師の意識改革にもつながった。

【横断幕の掲示による意識の高揚・学校園やプランターによる花栽培】

花いっぱい運動の一環として、特別支援学級の生徒、生徒会役員を中心に、卒業式を彩る花をプランターで育てた。

また、生徒会の活動スローガンや全国・九州大会に出場する部や選手の横断幕を作成し、登下校時、移動教室時に生徒の目に触れるところへの掲示を行った。

(3) のびる体力・自信

【健康教育の推進】

・歯科保健講話（3年生のみ体育館、リモートで実施）

学校歯科医による歯科講話については、3年生のみ体育館で、1・2年生は放送及び各学級での担任によるプレゼンテーション操作の形で実施した。

・11/17 歯科講話「体の健康は健口から with CORONA」

本校生徒の歯の状況についても把握されている学校歯科医の先生に講話をお願いし、大野中学校生徒の歯科検診の結果などをもとにお話しいただいた。全校生徒は、自分の事として真剣に耳を傾け、実際に聞けなかった生徒は各学級のテレビに映し出される資料をもとに講演を聞いた。

・薬物乱用防止教室

講話を今年度も佐世保税関支署へ依頼し、実際に語っていただくことで、本校の特色ある学校づくりの柱である「みんなが安心できる学校・社会を作ろう ～知る・気づく・行動する～」を実践する計画であったが、コロナ禍の中で実施できなかった。養護教諭が2・3年生に対し、学年ごとに実施した。

コロナ禍の中で、生徒に「命」、「人権」、「健康」、「人とのつながり」の大切さについて実感を伴って理解させることができたと考える。各学習会後の感想には、「人との関わりを持つことが大事だと感じた」、「もっと自分を成長させたい」、「社会の一員として活躍したい」等、夢や志のあるもの、今後の生活の糧とするもの等、意欲あふれるものが多かった。

(4) 開かれた学校づくり

【学校カレンダー作成・配付】（中止）

本校の教育目標や生徒の活動の様子の写真、学校行事を記した「学校カレンダー」を作成し、全家庭及び地域の関係機関に例年配布しているが、今年度は行事が不確定となったために、配布することができなかった。